

市民文芸

短歌

阿南市文化祭秋季短歌大会選

佳作 宮本久美子

年毎に畝の減りゆく野菜畑今年は二畝大根小
松菜

佳作 西井あつ子

容赦なく降りつける雨川は濁り鷹よその先見
てきておくれ

佳作 小西 千恵

竹やぶも杉も渦巻きキーンと家を揺さぶり
台風真上に

佳作 吉形 和恵

新米に野菜^づ尽しのちらし^づし昭和を頬張る平
成のおわり

佳作 浅海 弥生

コーラスをひやりとさせる声の割れ口ぱくに
するラの音よりうゑ

佳作 湯浅チヅ子

何事も克己であれと師の言葉胸にとどめて今
日も前進

佳作 矢野 道子

足もとを団扇であおぎ夕涼み銀河ながれる夜
空散策

俳句

阿南市俳句連合会選

入学の孫の姿に頬ゆるむ

鳥海 勇二

御代替はり令和の茶会若葉時

神原 鹿山

寂庵に在す石仏春落葉

神野千鶴子

お菓子屋の暖簾は白し初つばめ

佐々木八千代

囀りと一緒に歩く山の道

吉崎 晶子

残る鴨大丈夫かと問うて見る

坪井 美翠

燕来て光る自転車こぎい出す

稲原美砂子

眼鏡橋越ゆも潜るも花吹雪

末岐 美子

昼餉には何はともあれ筍煮

金本ひろみ

春風に羽根広げたるこうの鳥

岡本 隆子

川柳

阿南川柳会 鈴木レイ子選

足袋の穴^{つら}繕う母の魔法の手

佐藤つたえ

幸せを幾つも紡ぐ母の機

渡邊 浪漫

齢重ね静かに光るイヤリング
保護司の目正面に見て立ち直る
正解のない人生をまだ歩く
広すぎる庭と文句は贅沢か

滝川 太郎
原 公美子
野村 敏子
田上 鶴子

一般応募

夢一つスマホガイドで一人旅
心までスキップしてる嬉しい日
紫陽花とコラボしている夢風車

島尾美津子
武田 敏子
仁井 信子

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社選

春日吟歩

韶光風暖履行輕
鳥語啾啾盡日鳴
黃蝶易迷春靄裏
午風茶榻聽鶯聲

韶光 風暖かく履行輕し
鳥語 啾啾 尽日鳴く
黃蝶 迷い易し 春靄の裏
午風 茶榻 鶯声を聴く

神原 常経

モノの庭を散策す

雨潤園林濺綠池
水蓮紅白露珠垂
名庭移得名工畫
霽後芬芳一段奇

雨は 園林を潤して 緑池に 濺ぎ
水蓮の紅白 露珠 垂る
名庭 移し得たり 名工の画
霽後 芬芳 一段と 奇ならん

大地 和子

螢

僻村清澗水光青
無月山橋夜色冥
的皦群螢仰天舞
散飛撩亂似繁星

僻村の清澗 水光青く
無月の山橋 夜色冥し
的皦たる群螢 仰天の舞
散飛撩亂 繁星に似たり

谷口田鶴子